

政策 61 計画の推進に当たって

施策 01 市民との協働のまちづくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者、NPO等	市民との協働によるまちづくりを推進しています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいる と思う市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき						
		【生活課】	%	-	71.2	-		→					
評 価	(状況) 市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、地域課題に取り組むNPO・ボランティア団体数が増加していることや、ふるさとづくり支援事業の取組件数が増加していることなどから、協働の意識が高まっていると考えられるため、成果は向上していると推測されます。	<table border="1"> <caption>実績値推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>71.2</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>71.2</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H26	71.2	H28	71.2	目標値
		年度	実績値 (%)										
H26	71.2												
H28	71.2												
							達成度						

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 市民との協働の推進

基本事項 02 広報広聴の推進

基本事項01 市民との協働の推進

指標①	市民参画や協働を日常業務で実践している職員割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	55.9	56.1	62.3	→	
評価	(状況) 市民参画や協働を日常業務で実践している職員割合は62.3%で、前年度と比較し6.2ポイント増加しています。職員アンケートでは、493人中69人が「実践している」、238人が「どちらかといえば実践している」と回答しています。一方でアンケートの自由記載の内容を見ると、業務によっては、市民参画が日常業務で実践できない職務があるとの意見も見られます。 (原因) 協働意識が職員の中に浸透してきたためと考えられます。						目標達成度 ---

基本事項01 市民との協働の推進

指標②	NP0・ボランティア団体数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	団体数	109	112	120	→	
評価	(状況) NP0・ボランティア団体数は120団体です。前年度と比較し、8団体増加しています。 (原因) 平成27年度から実施しているサポセンフェスティバル等の効果により、市民活動やボランティアへの理解が深まってきていることが原因と考えられます。						目標達成度 ---

基本事項02 広報広聴の推進

指標①	市広報紙「広報すかがわ」の情報内容に関する満足度	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【秘書広報課】	%	-	93.5	-	→	
評価	(状況) 「広報すかがわ」の情報内容に関する満足度は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、市民と行政との相互の情報提供・対話の場として、子どもからお年寄りまでの身近な情報や写真を多く掲載するなど、親しみやすく、読んで分かりやすい紙面づくりに努めているため、成果は現状維持または向上していると推測されます。						目標達成度 ---

基本事項02 広報広聴の推進

指標②	月1回きちんと市広報紙「広報すかがわ」を読んでいる市民割合（市の情報提供手段の利用状況）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【秘書広報課】	%	-	64.5	-	→	
評価	(状況) 月1回きちんと市広報紙「広報すかがわ」を読んでいる市民割合（市の情報提供手段の利用状況）は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、町内会などを通じて配布しているほか、公共施設、病院、ショッピングセンターなどにも配置し、市ホームページへの掲載や、スマートフォンなどで読むことができる「マイイロ」を活用するなど、多くの市民の皆さんに読んでいただけるよう取り組んでいるため、成果は現状維持または向上していると推測されます。						目標達成度 ---

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 市民との協働の推進

基本事項 02 広報広聴の推進

基本事項02 広報広聴の推進

指標 ③	市民提案のうち実現した提案割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき														
		【秘書広報課】	%	34.3	37.1	43.9	→	☀ (向上)													
評 価	<p>(状況) 市民提案のうち実現した提案割合は43.9%で、前年度と比較し6.8ポイント増加しています。                      (原因) 市民提案直通便は、提案159件のうち実現したのは58件で、市の施設に関するものが42件で最も多く、うち新庁舎の改善などに関するものは38件でした。また、平成29年12月から運用を開始した画像投稿システム「レポナウすかがわ」に投稿された道路や公園の修繕など21件については、全て対応または対応予定です。施設の利用改善や行政サービスの向上など、市民の声を市政経営に反映するよう努めたことによります。</p>		<table border="1"> <caption>実績値の推移 (実績値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>			年度	実績値 (%)	H24	25	H25	28	H26	43	H27	34	H28	37	H29	44	目標 達成度	---
年度	実績値 (%)																				
H24	25																				
H25	28																				
H26	43																				
H27	34																				
H28	37																				
H29	44																				

政策 61 計画の推進に当たって

施策 02 行財政改革の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市	健全な財政運営に努めるとともに、将来にわたり安定した行政経営ができています。

施策の成果状況と評価

指標	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
① 経常収支比率	【企画財政課】	%	86.1	89.8	91.9	→
評価	<p>(状況) 経常収支比率は、財政構造の弾力性をあらわす指標で、経常一般財源に対する経常経費充当一般財源の割合から算出され、90%を超えないことが望ましいとされています。平成29年度は91.9%で、前年度と比較し2.1ポイント上昇しました。</p> <p>(原因) 民間認可保育所施設型給付事業等の扶助費の増加や、公立岩瀬病院の不採算医療に対する赤字補てん拡大等の影響により、指標が上昇しました。</p>					<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>
② 効果的で効率的な行財政運営（行政経営）が進められていると思う職員の割合	【企画財政課】	%	63.5	69.1	81.5	→
評価	<p>(状況) 効果的で効率的な行財政運営（行政経営）が進められていると思う職員の割合は、「そう思う」が5.9%、「どちらかといえばそう思う」が75.6%で、81.5%が肯定的意見となり、前年度と比較し12.4ポイント向上しました。職位別では、課長以上が94.1%である一方、係員は78.5%と現状認識に差が生じています。</p> <p>(原因) 平成28年度から事務事業評価、施策・基本事項評価、施策成果動向審議、施策枠予算編成と、PDCAサイクルが軌道に乗ったことで、年間を通した行政評価の取組が定着したことが原因と考えられます。一方で、調査においては、否定的な意見の場合、改善策を記述するよう記載方法を変更したことも影響していると考えられます。</p>					<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>---</p>
③ 総合計画成果指標向上割合	【企画財政課】	%	—	42.4	44.4	→
評価	<p>(状況) 総合計画成果指標「向上」の割合は、成果指標が「向上」は134件あり、全体で44.4%となりました。「行財政改革の推進」の施策の向上数が最も多く9件、次いで「消防・防災体制の充実」の施策が8件となった一方で「企業誘致の促進」は「低下」が3件に対し、「向上」は0件となっています。</p> <p>(原因) 隔年実施の市民アンケート結果を指標としている64の成果指標については、実績値が未取得となっていますが、前年度の審議結果を踏まえた評価で、優先度の高い施策は予算の配分枠が優遇され、向上の割合が高くなる傾向があります。</p>					<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>---</p>

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	行政サービスの向上
基本事項 02	職員資質の向上
基本事項 03	計画行政の推進
基本事項 04	自主財源の確保と受益者負担の適正化
基本事項 05	持続可能な財政運営の推進

基本事項01 行政サービスの向上

指標①	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	-	87.7	-	→	
評価	(状況) 市役所が提供するサービスに満足している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、5月から新庁舎が開庁するなど、これまで継続して整備を進めてきた復興事業の多くが完了し、成果が具体化してきたため、高位で推移していると推測されます。					目標達成度	---
							---

基本事項01 行政サービスの向上

指標②	行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できる組織になっていると思う職員割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	58.5	63.6	82.7	→	☀ (向上)
評価	(状況) 行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できる組織になっていると思う職員割合は、「そう思う」が6.2%、「どちらかといえばそう思う」が76.5%で、82.7%が肯定的意見となり、前年度と比較し19.1ポイント増加しました。職位別にみると、課長以上が90.0%と最も高く、係長が78.0%と最も低くなっています。 (原因) 復旧・復興関連事業が一段落しつつあることや新庁舎の開庁により、執務環境が大幅に改善したことが要因と考えられます。一方で、調査においては、否定的な意見の場合、改善策を記述するようアンケートの記載方法を変更したことも影響していると考えられます。					目標達成度	---
							---

基本事項01 行政サービスの向上

指標③	組織内・組織間連携が取れていると思う職員割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	42.1	47.8	66.4	→	☀ (向上)
評価	(状況) 組織内・組織間連携が取れていると思う職員割合は、「そう思う」が7.7%、「どちらかといえばそう思う」が58.7%で、66.4%が肯定的意見となり、前年度と比較し18.6ポイント増加しました。職位別に見ると、課長以上が最も高く72.5%である一方、主幹以下は60%台にとどまっています。 (原因) 震災により分散していた市庁舎機能が、新庁舎の開庁により、物理的な連携を取りやすくなったことが大きな要因と考えられます。一方で、調査においては、否定的な意見の場合、改善策を記述するようアンケートの記載方法を変更したことも影響していると考えられます。					目標達成度	---
							---

基本事項02 職員資質の向上

指標①	職員数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【人事課】	人	577	582	589	→	☂ (低下)
評価	(状況) 平成28年3月に策定した定員適正化計画により、平成27年から10年間で再任用を除く正職員を12人削減し、再任用職員を含めた総数を平成27年度と同数とすることを目標に取り組んでいますが、平成29年度の職員数は589人で、前年度と比較し7人増加しました。 (原因) 新たな行政課題や増大する福祉需要に対応するため、再任用を除く正職員は、22人の退職に対し27人採用したため5人増加しました。再任用職員については、希望者の増加により2人増加しました。					目標達成度	---
							---



□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 行政サービスの向上
基本事項 02 職員資質の向上
基本事項 03 計画行政の推進
基本事項 04 自主財源の確保と受益者負担の適正化
基本事項 05 持続可能な財政運営の推進

基本事項02 職員資質の向上

指標②	ラスパイレス指数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【人事課】		100.2	102.0	102.0	→	☀ (向上)
評価	(状況) ラスパイレス指数は、102.0となり、平成29年度の全国市平均99.1に対してやや高い数値となっています。 (原因) 本市においては、福島県人事委員会勧告の内容を基に給料表の改定を行っているため、国を上回る改定となっていることや職員の年代ごとの給与バランスを図るため、給料表の号給を増設していることがラスパイレス指数の上昇要因となっています。						目標達成度
							---

基本事項02 職員資質の向上

指標③	優秀な人材が確保されていると思う職員の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【人事課】	%	79.2	81.3	83.2	→	☀ (向上)
評価	(状況) 優秀な人材が確保されていると思う職員割合は83.2%で、前年度と比較し1.9ポイント向上しています。職位別では、全職位で向上しましたが、課長以上は95.5%と最も高く、係長は78.1%と最も低くなっています。 (原因) 係長は、実務を行いながら係の取りまとめや外部との調整など、業務が多様多様であるため、周囲に対する評価が低い状況にあるものと考えられます。また、組織内での職責の明確化に改善の余地があるものと考えられます。						目標達成度
							---

基本事項03 計画行政の推進

指標①	行政経営情報の一元管理が進んでいると思う職員の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	49.1	58.6	79.4	→	☀ (向上)
評価	(状況) 行政経営情報の一元管理が進んでいると思う職員の割合は79.4%で、前年度と比較し20.8ポイント向上しています。職位別では、係長以上が83.0%である一方、係員が77.2%と最も低くなっています。 (原因) 職位別の向上率では課長が25.5ポイントと最も高く、係員も20.3ポイントとなっています。行政評価制度について、段階的に評価手法を改善しながら予算との連携を図ってきており、平成29年度は施策・基本事項評価結果をまとめた「まちづくり報告書」を作成し公表したことで、目的が明確化されたためと考えられます。						目標達成度
							---

基本事項04 自主財源の確保と受益者負担の適正化

指標①	市税収納率（現年分）の県13市平均との差異	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【収納課】	%	0.2	0.3	0.4	→	☀ (向上)
評価	(状況) 市税収納率（現年分）の県13市平均との差異は0.4%で、前年度と比較し0.1ポイント上昇しました。各市における収納状況は、地域の経済状況等が異なっており、一概に比較はできませんが、平均値を上回っているため県内では収納率は高い水準にあると考えられます。 (原因) 市税収納率（現年分）は平成28年度が99.2%、平成29年度が99.3%と、前年度より収納率が向上したことから、指標値の差異は上昇しました。						目標達成度
							---

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	行政サービスの向上
基本事項 02	職員資質の向上
基本事項 03	計画行政の推進
基本事項 04	自主財源の確保と受益者負担の適正化
基本事項 05	持続可能な財政運営の推進

基本事項04 自主財源の確保と受益者負担の適正化

指標②	使用料・手数料が見直された件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【企画財政課】	件	-	-	-	→	
評価	<p>(状況) 全庁的な使用料・手数料の見直しは3年ごとに行い、前回は平成24年度に実施しました。それ以降は、実施を見送っています。なお、担当課による個別の見直しは、随時実施しています。</p> <p>(原因) 全庁的な見直しにあたっては、復興事業の進捗を踏まえるとともに、平成29年度に初めて作成した新地方公会計制度による財務書類等を活用した、統一的な設定基準の策定を目指して検討を進めてきたことなどの理由によるものです。</p>	グラフ表示はありません					目標達成度

基本事項05 持続可能な財政運営の推進

指標①	実質公債費比率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【企画財政課】	%	7.8	7.0	6.3	→															
評価	<p>(状況) 実質公債費比率は6.3%で、前年度と比較し0.7ポイント改善しています。</p> <p>(原因) この指標は公債費の元利償還金に公営企業等の元利償還金に対する繰出し等を加えた実質的な公債費の一般財源が標準財政規模に占める割合を3か年平均値として示し、実質的な公債費の財政負担度合いを表すものです。本市は健全な指標を示していますが、利率が比較的高かった臨時地方道整備事業などの償還が進み、元利償還金が減少したことなどにより、指標が改善しています。</p>	<table border="1"> <caption>実質公債費比率の推移 (H24-H29)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>9.2</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>7.8</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>6.3</td> </tr> </tbody> </table>					年度	比率 (%)	H24	9.5	H25	9.2	H26	8.5	H27	7.8	H28	7.0	H29	6.3	目標達成度
		年度	比率 (%)																		
H24	9.5																				
H25	9.2																				
H26	8.5																				
H27	7.8																				
H28	7.0																				
H29	6.3																				

基本事項05 持続可能な財政運営の推進

指標②	基礎的財政収支 (プライマリーバランス)	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【企画財政課】	百万円	3,377	-7	1,880																
評価	<p>(状況) 基礎的財政収支 (プライマリーバランス) は、政策的な支出を借金に頼らず、その年度の税収等でまかない、後年度負担に転嫁していないかを示す指標です。前年度は赤字になりましたが、平成29年度は1,880百万円の黒字に回復しました。</p> <p>(原因) 黒字になった要因は、前年度と比較し市債の額が減少したことなどの理由によるものです。</p>	<table border="1"> <caption>基礎的財政収支の推移 (H24-H29)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>百万円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3,800</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3,300</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>-7</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,880</td> </tr> </tbody> </table>					年度	百万円	H24	4,000	H25	3,800	H26	1,500	H27	3,300	H28	-7	H29	1,880	目標達成度
		年度	百万円																		
H24	4,000																				
H25	3,800																				
H26	1,500																				
H27	3,300																				
H28	-7																				
H29	1,880																				